

目 次

はしがき

第1章	チョムスキーの生成文法理論	1
1.	言語機能の基本的特性	9
2.	言語能力と言語使用	11
3.	言語機能の生得性	14
4.	普遍文法のすがた	18
第2章	X' 理論	23
1.	X' 理論誕生の経緯	23
2.	X' 理論とは?	27
3.	範疇選択と意味選択	34
4.	文の内部構造	39
5.	名詞句の内部構造	45
6.	語彙範疇と機能範疇	49
7.	付加構造	51
8.	小節と be 動詞構文の構造	58
9.	まとめ	65
第3章	Move α 理論	67
1.	Move α 理論とは?	67
2.	操作詞移動	75
2.1.	下接の条件	78

2.2. 空操作詞移動	89
3. 格移動	101
3.1. 格理論 (Case Theory)	102
3.2. 格移動の局所性	115
4. まとめ	123
第4章 束縛理論 (Binding Theory)	125
1. 束縛条件 (Binding Condition)	126
2. 統率理論 (Government Theory)	136
2.1. 統率と格付与	138
2.2. 統率範疇	146
3. 利用可能な「主語」 (Accessible SUBJECT)	147
4. 束縛条件の適用レベル	160
5. 束縛理論に基づく空範疇の分類	164
5.1. DP 痕跡	166
5.2. 代名詞 pro	168
5.3. 変項と束縛条件 (C)	169
5.4. PRO の定理	174
6. 痕跡の分布	182
7. 主格島条件の残された問題	189
8. 空範疇の機能に基づいた指定	202
8.1. 帰結 I: 強交差現象	205
8.2. 帰結 II: 寄生空所構文	207
9. まとめ	213
参考文献	217
索引	219